

## 第1回環境審議会資料（骨子案）からの変更点

※頁等の情報は、今回配布「第3次尾鷲市環境基本計画素案（案）」のものです。

頁	主な変更点
1	5行目の「生物多様性の保全が重要度を増しています。」を「生物多様性の損失を抑制し、回復させるための行動が重要度を増しています。」に修正。
6	図「土地利用状況」及び「土地利用状況の推移」について、私有地面積より作成した旨の注釈を追記。
7	7行目の「その保全が大きな課題となっています。」を「その保全・整備を通じた生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進が求められています。」に修正。
20	【尾鷲市の望ましい環境像】の（仮）を削除。
22	【望ましい環境像】の（仮）を削除。
23	「第1節 自然環境」の「1. 施策目標」、「多様な主体（市民、事業者、市（行政）、NPO等）との連携により、森林の適正管理・運営に努めます。」を「多様な主体（市民、事業者、市（行政）、NPO等）との連携により、森林や公園・緑地の適正管理・運営に努めます。」に修正。
23	「第1節 自然環境」の「1. 施策目標」、「・希少な動植物の保護に努めるとともに、野生鳥獣に対する正しい知識の普及啓発を行い、生物多様性が保全された地域づくりを目指します。」を「・生物多様性の保全上重要な地域や経済的・社会的・文化的に重要な里地・里山・里海においては、生物多様性の保全とともに、それを回復させる取組みを行い、ネイチャーポジティブな地域を目指します。」に修正。
23～25	「第1節 自然環境」の「2. 基本的な施策」に具体的な取組みを追記。
25	「第1節 自然環境」の「3. 重点施策」、「●森林資源・海洋資源を活かした価値創出」2行目「保全に努めます。」を「保全と回復に努めます。」に修正。
25	「第1節 自然環境」の「3. 重点施策」、「●森林資源・海洋資源を活かした価値創出」3行目「J-クレジットによる環境価値の見える化を通じて、林業の新しい価値を創出します。」を「生物多様性に配慮した森林管理及び J-クレジットによる環境価値の見える化を通じて、林業の新しい価値を創出します。」に修正。
26～28	「第2節 生活環境」の「2. 基本的な施策」に具体的な取組みを追記。
29～30	「第3節 循環型社会」の「2. 基本的な施策」に具体的な取組みを追記。
31～32	「第4節 脱炭素社会」の「2. 基本的な施策」に具体的な取組みを追記。
32	【進捗管理指標】の項目を「温室効果ガス排出量」に修正。
32	【進捗管理指標】の現状に「（2013年度比 -12.6%）」、目標に「（2013年度比 -48.9%）」を追記。
33～34	「第5節 環境教育・環境学習」の「2. 基本的な施策」に具体的な取組みを追記。
34	【進捗管理指標】の目標について数値及び目標年度を記載。
35	【望ましい環境像】の（仮）を削除。
38～	参考資料【環境基本計画の策定の経過】【尾鷲市環境審議会委員名簿】【市民アンケート調査結果】【事業者アンケート調査結果】を追加。